

Elazzio

SEAT COVER



NISSAN CARAVAN

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

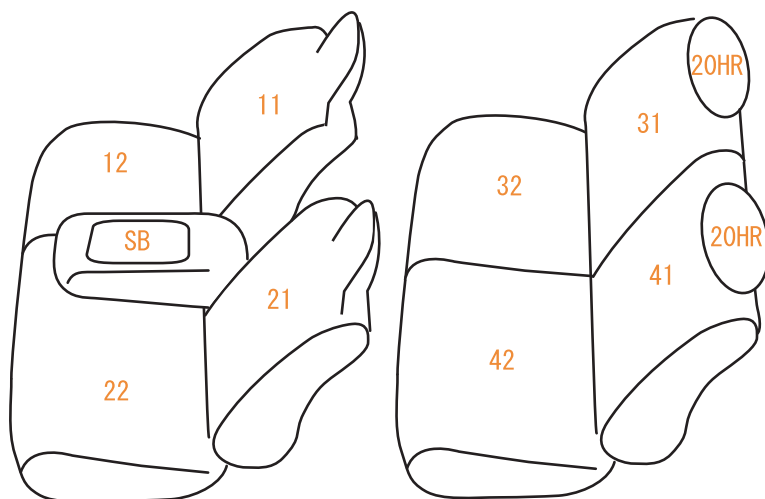
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P～4P
運転席座面の装着方法	…> 5P～6P
助手席座面の装着方法	…> 7P～9P
ひもの結び方	…> 10P
運転席背もたれの装着方法	…> 11P～12P
助手席背もたれの装着方法	…> 13P～14P
中央席背もたれの装着方法	…> 14P～15P
2列目座面の装着方法	…> 16P～18P
2列目背もたれの装着方法	…> 19P～20P
ヘッドレストの装着方法	…> 21P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 22P～23P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (14mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。

事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。

- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつくなる場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

運転席座面の装着方法



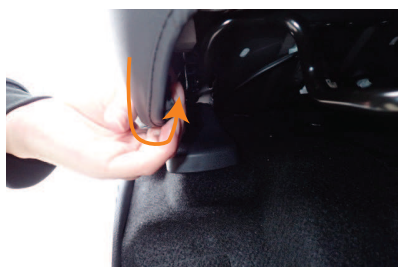
- 1** 座面のラインに合わせて、カバーをかぶせます。



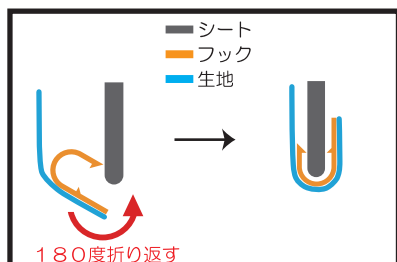
- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で作業を行ってください。



- 3** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。背面の純正表皮が外れない為、純正表皮をずらしながら作業を行います。
※純正表皮を外す為には、シート本体を車体から取り外す必要があります。



- 4** カバー外側面（2箇所）に付いているブラックを、シートのフチに引っ掛けて固定します。
固定方法は5番を参照してください。



- 5** ブラックは、生地裏に付いているフックを生地ごと巻き込むように固定します。



- 6** カバー内側面（1箇所）に付いているブラックを、外側面と同様にシートのフチに引っ掛けて固定します。



- 7** リクライニングレバーを上を持ち上げると図の丸印の位置にネジがあります。プラスドライバーを使用してネジを緩めます。



- 8** カバーをプラスチックカバーの隙間に入れ込み、ネジを締めます。



- 9** 3番で引き出した生地についているベルトをシート裏から前側に通します。ベルトを通す際、シートを一番前にスライドさせて外側から通すと、隙間が内側より広い為作業が行いやすくなります。



- 10** 引き出したベルトとカバー前側に付いているバックルを、スライドレバーに干渉しない位置で固定します。ベルトの固定方法は11番を参照してください。



- 11** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締り固定されます。ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



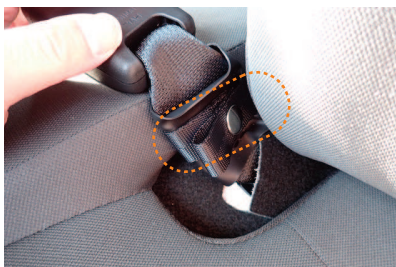
- 12** カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。

Step 2

助手席座面の装着方法



- 1** 助手席座面は座面を車体から外して装着を行います。
始めに、座面前側にあるプラスチックキャップを外します。



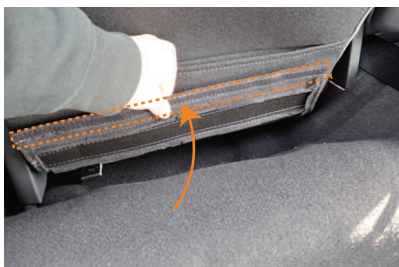
- 4** シートベルトを固定しているボタンを外します。



- 2** キャップを外した所にあるボルトを、ソケットレンチ（14mm）を使用して外します。



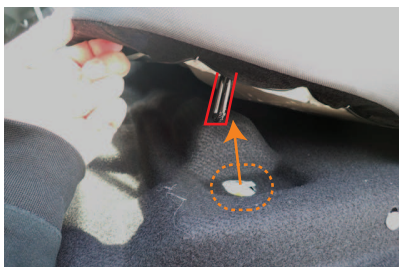
- 5** 中央席用のシートベルトを座面のゴムバンドから取り外します。



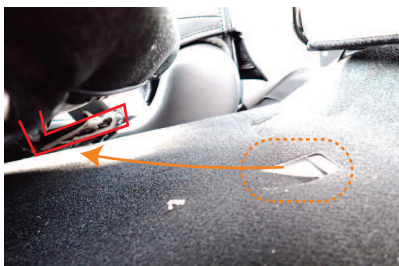
- 3** 背面側の純正生地を固定を外します。
生地に付いているマジックテープが、車体側に貼り付けて固定されています。



- 6** 前側を持ち上げてから全体を手前に引く事で座面が外れます。
詳細は、**7番・8番**を参照してください。



- 7** 6番の①位置にある固定具に座面の金属フックが固定されています。
①位置を意識して、真上に引き上げるようにすると、固定具から金属フックが外れます。



- 8** 6番の②位置に座面の金属フックが固定されています。
②位置を意識して、手前にずらすようにすると、金属フックが外れます。



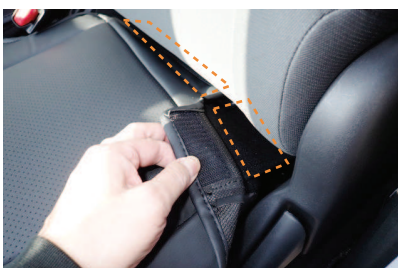
- 9** 座面を外した状態です。
※シートヒーター装備車は、座面裏に配線が繋がっています。
図のように、配線に負担が掛からない程度に座面を浮かせた状態で、シートカバーを装着します。



- 10** 座面の形状に合わせて、カバーの位置決めをします。



- 11** 中央席寄りのカバーの後ろ側の生地を、座面に引っ掛けるようにします。



- 12** 助手席寄りのカバーの後ろ側の生地に付いているマジックテープを、③番で外した純正生地に直接貼り付けて固定し、純正生地はカバーの外側に出しておきます。
※シートヒーター装備車は、配線部をカバーのスリット位置でかわします。



- 13** 座面全体にカバーをかぶせます。



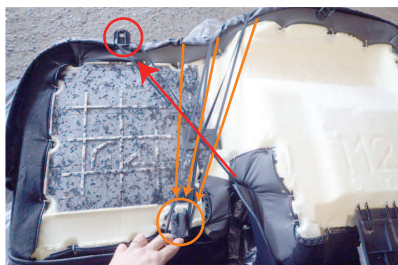
- 16** カバー両側面に付いているひもを引き絞り結び留めます。
ひもの結び方は、10ページを参照してください。



- 14** 2番で外したボルト位置にある金属部分をかわすようにひもを通します。



- 17** 外した時と逆の手順で、座面を車体に戻します。
3番で外した純正生地も元に戻します。

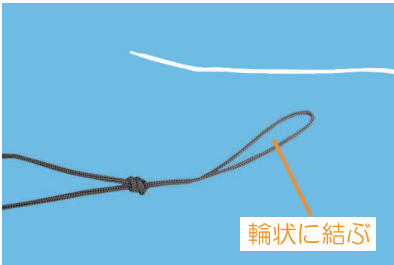


- 15** カバーに付いている前の3箇所と、後ろ1箇所のゴムを金属パーツに引っ掛け固定します。
前のゴムは8番の金属フックに、後ろのゴムは14番の金属パーツに固定してください。



- 18** カバーに付いているゴムバンドに5番で外したシートベルトを通します。
4番で外したボタンも元に戻します。
カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。

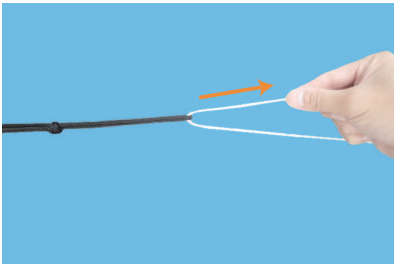
ひもの結び方



- 1** ひもの結び方です。
片方のひもを図のように輪状に結びます。
※図は分かりやすいように、色の違うひもを使用しています。



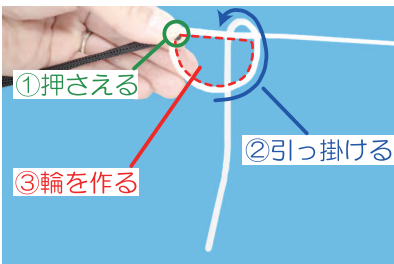
- 4** 3番の③で作った輪に指を入れ、②で引っ掛けたひもを指で掴みます。



- 2** 1番で作った輪にもう片方のひもを通し、ひもを引き絞ります。
※ひもを強く引っ張りすぎると、切れる恐れがある為ご注意ください。



- 5** 掴んだひもを輪から引き出します。



- 3** ①ひもが緩まないように、ひもとひもが交わる部分を指で押さえます（ひもを結び終わるまで押さえてください）。
②白色のひもを図のように前から後ろに向かって引っ掛けます。
③図のように輪を作ります。
※実際に結ぶ際は、写真のように輪を綺麗に作りながら作業を行うのは難しい為、4番の作業を行う上での補足程度と考えてください。



- 6** 3番の①でひもを押さえている方向に引き出したひもを引っ張る事で、ひもを緩める事無く結び留める事ができます。

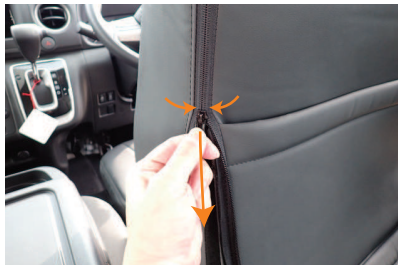
Step 3

運転席背もたれの装着方法

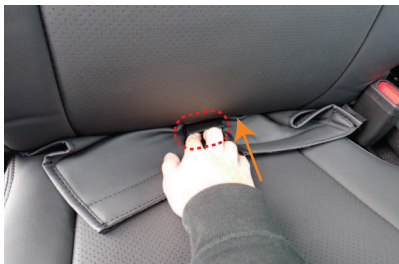
※図は、5660で説明しますが、
5659も同様に装着します。



- 1** カバー両側面のファスナーを開き、背もたれのラインに合わせてカバーをかぶせます。ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせてください。



- 4** 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地の中央にはブラフックが付いている為、シートを傷つけないように注意してください。



- 5** ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



- 3** 5ページ3番と同様に、純正生地をすらしながら、入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 6** カバーをシートに馴染ませます。
図のように①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を3番と同様に背面側から引き出します。



- 7** 3番で引き出した生地についているブラックを図の位置に引っ掛けて固定します。
※図は純正表皮を外していますが、実際は純正表皮の内側に手を入れて作業を行ってください。



- 8** 7番の説明の拡大図です。
※シートヒーター装備車は、配線に注意してください。（赤枠内を参照）



- 9** 3番で引き出した生地裏についているマジックテープを純正表皮に直接貼り付けて固定します。
※図は純正表皮を外していますが、実際は純正表皮の内側に手を入れて作業を行ってください。



- 10** カバー背面下部の生地裏についているマジックテープを、純正表皮に直接貼り付けて固定します。



- 11** 背面側は図のように仕上がります。



- 12** カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。

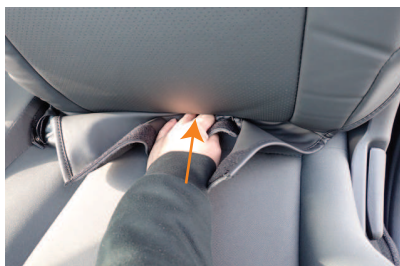
Step 4

助手席背もたれの装着方法

※図は、5660で説明しますが、
5659も同様に装着します。



- 1** カバー外側面のファスナーを開き、背もたれのラインに合わせてカバーをかぶせます。ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせてください。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。
※シートヒーター装備車は、配線部をカバーのスリット位置でかわします。



- 4** 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 5** ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



- 6** カバーをシートに馴染ませます。
図のように①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシワを寄せ、寄せた生地を③番と同様に背面側から引き出します。

Step 5

中央席背もたれの 装着方法



- 7** 3番で引き出した生地に付いているマジックテープと、カバー背面下部の生地裏に付いているマジックテープを固定します。



- 1** ドライバーを使用し、プラスチックボックス内上側2箇所、ボックス外下側2箇所（15ページ7番を参照）のネジの固定を外し、ボックスを外します。



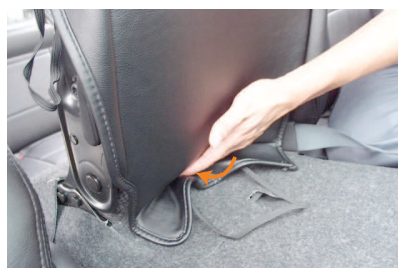
- 8** 背面側は図のように仕上がります。



- 2** 背もたれのラインに合わせてカバーを背もたれ全体にかぶせます。



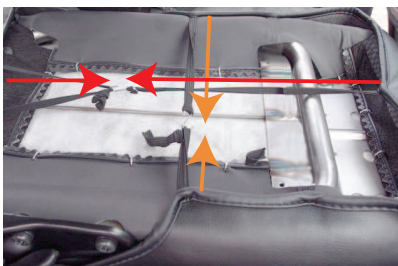
- 9** カバーのラインを整えて、助手席背もたれの完成です。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



4 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



5 カバーの前後左右に付いているゴム同士を付属の金属フックで固定します。ゴムの長さは長めに設定していますので、ゴムを結ぶ等、長さを調節して程よくテンションが掛かるようにしてください。



6 カバーの縁がはみ出ないように、ボックスを元に戻します。



7 1番で外したネジを元に戻します。始めにボックス内のネジ2箇所を先に固定し、次にボックス外の下2箇所のネジを固定します。下2箇所のネジ穴部分は生地で覆われていますが、生地の上からネジで固定してください。



8 カバーのラインを整えて、中央席背もたれの完成です。

Step 6

2 列目座面の装着方法

運転席側で説明します。



- 1** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 4** ヘッドレストをシートから外し、背もたれを前に倒してからシートの足に付いているベルトを手前に引き、シートのロックを解除します。



- 2** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 5** シートを跳ね上げます。



- 3** カバーをシート全体にかぶせます。



- 6** 2番で引き出した生地についている中央のマジックテープを、シート裏に直接貼り付けて固定します。



- 7** ドライバーを使用して、シート後方にあるプラスチックカバーのネジの固定を外し、プラスチックカバーを外します。



- 10** 反対側も同様に行います。



- 8** ヘラ等を使用し生地を入れ込みます。



- 11** 7番で外したプラスチックカバーを元に戻します。



- 9** カバー側面後ろ側に付いているマジックテープの付いた生地を背面側に回し、2番で引き出した生地の際に付いているマジックテープと固定します。



- 12** カバー前側のマジックテープの付いた生地を座面裏に回し、シートに直接貼り付けて固定します。



- 13** カバー裏の左右に付いているベルトを固定します。



- 16** シートベルトとバックル収納部分に生地を入れ込みます。



- 14** カバー裏の左右に付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。
※ 13番で固定したベルトを引っ張り過ぎると、マジックテープの固定がうまく出来なくなる為、ベルトは程良いテンションで固定してください。



- 17** シートベルトとバックルを収納すると、このようになります。



- 15** シートベルトとバックルをカバーの加工穴から取り出します。



- 18** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側も同様に取付けます。

Step 7

2 列目背もたれの装着方法

運転席側で説明します。



- 1** ドライバーを使用して、背もたれ付け根のプラスチックカバーのネジの固定を外し、プラスチックカバーを浮かせておきます。



- 4** 生地の利用して、カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。
本革を使用したカバーは、生地が伸びにくい為、台座を取り出す際に生地が裂ける場合があります。台座に隠れない程の裂け目が入らないように注意してください。



- 2** カバーを半分程度裏返し、背もたれのラインに合わせてかぶせます。



- 5** 台座を取り出すと図のように仕上がります。



- 3** シート全体にカバーをかぶせます。



- 6** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



7 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



10 1番で外したネジの固定を元に戻します。



8 1番で浮かせたプラスチックカバーの隙間に生地を入れ込みます。



11 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様にに取り付けます。



9 6番で引き出した生地に付いているマジックテープと、カバー背面下部の生地裏に付いているマジックテープを固定します。

Step 8

ヘッドレストの装着方法



- 1** カバーを半分程度裏返し、ヘッドレストの先端までしっかりとカバーをかぶせます。カバーは板状のプラスチックが付いている方が前側になります。
※純正表皮が合皮のお車は生地が滑る為、装着しづらくなります。2人で作業を行うなど工夫する事をおすすめします。



- 2** カバーを左右交互にずらしていき、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3** ヘッドレストをシートから取り外します。ヘッドレスト裏側で、カバー前後のブラフックを固定します。ブラフックの固定方法は4番を参照してください。



- 4** ブラフックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地と共に折り返して挟み込み固定します。



- 5** 正しくブラフックを固定すると図のように仕上がります。



- 6** カバーのラインを整えて、ヘッドレストの完成です。

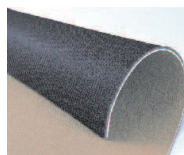


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

- 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になるため、掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きしてください。



ファブリック

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

- シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となるためしっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816